

【八月の言葉（令和八年）】

自分と同じように

悩み苦しんでいる人は

まだまだ　たくさんいる。

「自分だけが満ち足りている」

これが本当の理想なのでしょうか。

自分と同じ悩みや苦しみを抱えている人、助けを求めている人はいないでしょうか。

私たちは誰かに、何かに支えられて生きています。だとしたら、私もきつと、誰かの、何かの支えとなることができるはずです。

今一度、他人とのつながりを見直すことは、人と人とのつながりが希薄化しつつある現代であるからこそ、大切ではないでしょうか。

「自分だけが」という視点から、「多くの人々とともに」という視点も忘れたくないものです。

（「親鸞聖人のことば―『教行信証』御自釈を読む―」

〈本願寺出版〉参照）